

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2021年10月に日本内分泌学会から「原発性アルドステロン症 診療ガイドライン2021」が発表されました。

新ガイドラインでは、アルドステロンの真の値に最も近似する CLEIA 法の LC-MS/MS 相当値を臨床判断の基準値とすることを推奨しております。

これにともない、2022年4月1日(金)受付分より、アルドステロン検査を、ガイドラインで示された LC-MS/MS 相当値が得られる試薬である「アキュラシード アルドステロン・S(富士フイルム和光純薬株式会社)」へ変更することとなりましたので、ご案内申し上げます。

尚、本変更にともない、アルドステロン/レニン活性比(PAC/PRA 比)につきましても、検査内容を一部変更させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

2022年3月

【記】

◇検査内容変更項目

項目コード	検査項目名
2711	アルドステロン(血清又は血漿)
4159	アルドステロン/レニン活性比(PAC/PRA比)
4121	アルドステロン(蓄尿)

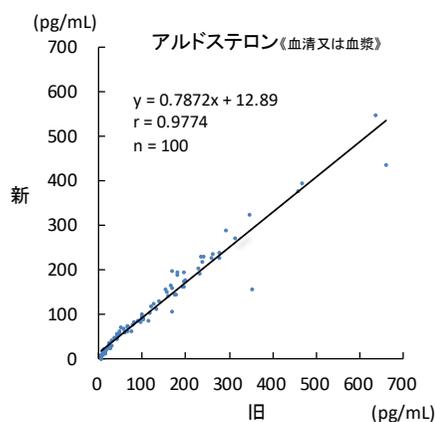
変更期日：2022年4月1日(金)受付分より

※詳細は次頁をご参照ください。

◇アルドステロン《血清または血漿》

	新	旧
項目コード	3786	2711
検査材料	血清または血漿	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	血清：⑩ 分離剤入り容器 または 血漿：⑦ EDTA-2Na容器	同左
保存方法	凍結	同左
検査方法	CLEIA法	同左
報告内容	CLEIA法による測定値	CLEIA法による測定値 RIA法相当値
基準範囲	10.4～142.3	CLEIA法による測定値：170.5以下 RIA法相当値：設定なし
単位	pg/mL	同左
報告範囲	4.0未満～3200.0超	CLEIA法による測定値：17.0未満～1600.0超 RIA法相当値：59.3未満～1642.3超
報告桁数	小数点第1位	同左
所要日数	2～4日	同左
検査料 / 実施料	125点/生化学的検査(Ⅱ)	同左
測定試薬	アキュラシード アルドステロン・S (富士フイルム和光純薬株式会社)	デタミナーCLアルドステロン (ミナリスメディカル株式会社)

◇新旧二法の相関



自社検討資料

※ 変更期日(2022年4月1日(金))受付分以降に、旧コード(2711)でご依頼いただいた際は、
新コード(3786)での受付に変更させていただきます。

◇アルドステロン／レニン活性比(PAC/PRA比)

	新	旧
項目コード	3787	4159
検査方法	計算法	同左
報告内容	PAC/PRA比 ^{※1※2}	同左
基準範囲	案内確認 ^{※3}	200以下

※1 アルドステロンまたはレニン活性の測定値が、報告下限値又は上限値の場合、計算不可となります。

※2 PAC/PRA比 = アルドステロン値 / レニン活性値 (アルドステロン試薬名: アクキュラシード アルドステロン・S)

※3 下記の原発性アルドステロン症のスクリーニング陽性判定基準をご参照下さい。

<参考> 原発性アルドステロン症のスクリーニング陽性判定基準

	新	旧
スクリーニング 陽性判定基準	<p>■血漿レニン活性<4024>を用いる場合 PAC(CLEIA法)/PRA比(ARR) \geq 200かつ PAC(CLEIA法) \geq 60pg/mL</p> <p>但し、ARR 100~200を「ARR境界域」とし、 PAC(CLEIA法) \geq 60pg/mLを満たせば、暫定的に 陽性とする。</p>	PAC(RIA法)/PRA比(ARR) > 200 かつPAC(RIA法) > 120pg/mL
	<p>■活性型レニン定量<3676>を用いる場合 PAC(CLEIA法)/ARC比(ARR) \geq 40かつ PAC(CLEIA法) \geq 60pg/mL</p> <p>但し、ARR 20~40を「ARR境界域」とし、 PAC(CLEIA法) \geq 60pg/mLを満たせば、暫定的に 陽性とする。</p>	

[原発性アルドステロン症 診療ガイドライン2021] より

PAC：血漿アルドステロン値 PRA：血漿レニン活性 ARC：活性型レニン定量

※ CLEIA法による測定値が普及、一般化し、CLEIA法による至適カットオフ値が確立するまでは、ARR 100~200を「ARR境界域」と位置付け、ARR 100~200かつPAC(CLEIA法) \geq 60pg/mLであれば暫定的に陽性とする。

※ PRAを活性型レニン濃度(ARC)に代替する場合、PAC(CLEIA法)/ARC \geq 40をARRの陽性判定基準とする。
但し、PAC(CLEIA法)/ARC 20~40を「ARR境界域」と位置付け、PAC(CLEIA法)/ARC 20~40かつPAC \geq 60pg/mLも暫定的に陽性とする。

※ 変更期日(2022年4月1日(金))受付分以降に、旧コード(4159)でご依頼いただいた際は、
新コード(3787)での受付に変更させていただきます。

◇アルドステロン《蓄尿》

	新	旧
項目コード	4121	同左
検査材料	蓄尿	同左
検体必要量	3.0mL	同左
容器	⑩：尿容器	同左
保存方法	凍結	同左
検査方法	CLEIA法	同左
基準範囲	濃度：設定なし 1日排泄量：0.2～9.8	濃度：設定なし 1日排泄量：10.0以下
単位	濃度：ng/mL 1日排泄量：μg/day	同左
報告範囲	濃度：0.1未満～96.0超 1日排泄量：設定なし	濃度：0.6未満～48.0以上 1日排泄量：設定なし
報告桁数	小数点第1位	同左
所要日数	3～5日	同左
検査料 / 実施料	125点 / 生化学的検査(Ⅱ)	同左
測定試薬	アキュラシード アルドステロン・S (富士フイルム和光純薬株式会社)	デタミナーCLアルドステロン (ミナリスメディカル株式会社)

お問い合わせは最寄りの営業所 または、
本社・研究所にお願いいたします。

SMS 株式会社 **昭和メディカルサイエンス**
 本社・研究所：東京都町田市南町田三丁目45番18号
 TEL 042 (795) 6000